

平成 31 年 4 月 24 日

杉並区立松溪中学校
生徒・保護者の皆様へ

杉並区教育委員会
杉並区立済美教育センター

平成 31 年度 杉並区「特定の課題に対する調査、意識・実態調査」実施のお知らせ

杉並区教育委員会では、平成 16 年度から、杉並区立小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に、国語科、算数・数学科、理科、外国語、自分自身のことなどについて調査を実施しています。「特定の課題に対する調査、意識・実態調査」と称す本調査は、調査実施の前学年の状況を把握することで、①子どもたち一人一人の学び、②教員の学習指導や学校の教育活動、③教育行政による学校・教員への支援を充実することを目的にしています。

我が国は、人口構成の変化、グローバル化や情報化の加速、科学技術のより一層の発展・普及の最中にあります。こうした状況下にあつて、理科・科学教育の充実は喫緊の課題であり、「杉並区教育ビジョン 2012 推進計画（平成 27～29 年度）」においても取組内容に位置付けているところです。

しかし、一度の調査で、全ての状況を把握できるわけではありません。調査はあくまで、絶え間ない学びと成長の「一時点」「一場面」を捉えるものです。一方、調査の結果には、「もっと学びたい」といった子どもたちの「願い」が表れると考えることができます。だからこそ、調査やその結果は、つまづきを減らしたり、前に学んだことをもう一度学び直したり、新しい内容に挑戦したりしようとする子どもたちを支えるためにこそ活用していかなければなりません。

こうした考えに基づき、下記のとおり調査を実施しますので、お知らせいたします。
ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 対象 杉並区立中学校に在籍する第 1 学年から第 3 学年の生徒全員
- 2 実施日 令和元年 5 月 9 日（木）、結果の返却は 8 月中を予定しています。
- 3 実施場所 生徒が在籍する杉並区立中学校
- 4 実施内容
 - (1) 教科等に関する調査（特定の課題に対する調査）
国語、数学、理科、外国語（第 2・3 学年のみ）
 - (2) 学習・生活についてのアンケート（意識・実態調査）
自分自身のことに関する振り返り、自己効力感や肯定感、相互承認の感度、学習意欲や学び方 等